

制度の進捗 2026年7月20日更新

■コロナ後遺症の医療福祉の地域間格差を解消 ...検討のテーブルへ

■かかりつけ医のコロナ後遺症の診療浸透「別冊 罹患後症状のマネジメント」の充実と医療現場への浸透...官民で工夫繰り返し中

①解説動画を掲載！

1.罹患後症状(R6.8.28) 2.罹患後症状を訴える患者へのアプローチ(R6.11.19) 3.産業医学的アプローチ(R7年初春)

②厚労省は当会らの意見を反映し2025年2月26日にバージョンを3.1版に更新！（上記マネジメント）かかりつけ医はじめ、多くの医療従事者に視聴していただけるように広めてくださいませ

■コロナ後遺症の症状による身体障害者手帳の意見書作成浸透 →全世代のコロナ後遺症の身障手帳も0から開拓・改善(下記の【最新の取組み】をご覧ください)...更に官民で進めています

■かかりつけ医によるコロナ後遺症の障害年金診断書の作成浸透

■治療と仕事の両立支援等の観点を含め、職場におけるコロナ後遺症に関する理解の一層の促進を図るため、企業の人事労務担当と労働者の皆様に向けたリーフレットを作成していただきました。

■令和6年6月 生活や仕事で心がけていただくこと等をまとめたリーフレットを作成実現

■「治療と仕事の両立について」コロナ後遺症も使用できる事を明確化や全国で共有実現。更なる現場への周知浸透など

■オンラインセミナーの定期開催 ...東京都で開催中

■労基職員増員、労災保険給付のしくみの簡素化 ...認定や支給が早くなりました！

■窓口の明確化...現在は厚労省HPを当会と協業で改善中

■子どものコロナ後遺症への支援(2023年秋～)...見直し通達発出

■5類における新型コロナウイルス感染症対策...協議繰り返し協議を重ねて、2025年4月

より新しい制度となりました「急感染症(ARI 性呼吸器) 」へ。(詳しくは【5類移行の感染症対策】のページへ)

■治療法確立...繰り返し協議をしている。